

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 南丹市

プロジェクト名	定住につながる環境づくりプロジェクト		実施期間	H26～H29	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	日本の総人口減少時代の中、南丹市も例外なく人口減少が続いている。若者定住に向けた子育て施策、交通の整備、雇用の創出、人口の流出を防ぐための高齢者対策、社会福祉施策、健康関連施策の充実など生活基盤の安定確保に向けた様々な施策を展開し、定住促進につながる効果的な施策の推進が求められている。 そのような中、平成26年3月に定住促進アクションプランを策定し、人口の安定化に向けた実行性のある事業の推進を図っていく。							
プロジェクトの目的及び概要	定住の重要な要素である「交通」「雇用」「子育て」「福祉」などの環境づくりを進めるとともに都市部は都市部らしく、農村部は農村部らしく地域の特性を活かし、市民のニーズに即した総合的な施策を進め、全世代が暮らしやすいと感じられるまちづくりを推進していく。							
	総事業費（千円）	445,959	本年度事業費（千円）	158,964	交付金額（千円）	63,195		
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	地域交通計画事業	交付金対象事業	バス運行の計画及び路線・運賃等の検討		バス交通に係る利便性の向上に向けて計画の作成した			
	総合振興計画策定事業	交付金対象事業	第2次南丹市総合振興計画の策定		市民ワークショップを開催し、市民の声を集約するとともに、市民アンケートにより広く現状の市民の思いを調査し計画を作成した			
	定住促進事業	交付金対象事業	定住促進・就職支援 補助		U・Iターン就職支度商品券交付事業 3件 Uターン者住宅購入・新築支援商品券交付事業 6件 など			
	戸籍システム更新事業	交付金対象事業	戸籍システム更新		本庁（市民環境課：4台） 各支所（市民生活課：八木2台 日吉1台 美山1台） 計 8台			
	発達支援センター管理運営費	交付金対象事業	養育事業の実施		年間を通じた養育事業を実施。早期発見・早期支援を心掛け、個々の成長の歩みを大切にし、成長発達に合わせた支援			
	保育所給食環境整備事業	交付金対象事業	給食室食洗器等厨房機器の導入を実施		市内各保育所に食器消毒保管庫 1台、冷凍冷蔵庫 3台、冷凍庫 1台、ガス回転釜 1台を導入			
	幼稚園教育環境整備事業	交付金対象事業	園部幼稚園空調機設置		幼稚園における幼児教育の環境向上の一環として3台を設置			
	小学校教育環境整備事業	交付金対象事業	園部小・園部第2小学校 床修繕		各小学校におけ教育の環境向上の一環として実施できた			
	中学校教育環境整備事業	交付金対象事業	園部中学校 床修繕		各小学校におけ教育の環境向上の一環として実施できた			
	高齢者外出支援サービス事業	交付金対象事業	居宅から医療機関まで送迎		一般の公共交通機関の利用が困難な在宅高齢者をリフト付き車で居宅から医療機関まで送迎を実施できた			
	地域連携型住宅整備事業	関連事業	地域団体が行う空き家を活用した定住促進拠点施設の整備に對しての補助の実施		町屋を活用したシェアハウス・交流スペース等の複合施設「新町シェアハウス」の整備を支援 定住促進住宅補助金1件			
移住促進事業	関連事業	移住促進特別区域内において、移住者が居住するために行う空き家の改修と、当該空き家の所有者が移住者を受け入れるために行う環境整備に對して、補助を実施		①移住促進事業 23件 ②定住促進地域情報発信ツール整備事業 2件				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 南丹市

住民協働事業	障害者計画策定事業	交付金対象事業	障害者計画、障害者福祉計画の策定	市民に対するアンケート調査の実施やパブリックコメントの実施を行い、南丹市障害者計画及び第5期障害福祉計画策定・第1期障害児福祉計画を作成できた
	地域福祉計画策定事業	交付金対象事業	地域福祉計画の策定	市内数か所でワークショップを実施し結果を基に、第3期地域福祉計画を作成できた
	自治振興補助事業	交付金対象事業	地域活動拠点施設の整備に対する補助	行政区が主体となって行う集会所の新築や改築、公園等の整備や改良等、環境整備に対して補助を実施 33件
	地域おこし協力隊事業	関連事業	地域の活性化のために活動する、都市部出身の意欲ある人材を「南丹市地域おこし協力隊」に委嘱	定住促進に向けた情報発信活動と併せ、移住者を受け入れる機運醸成に取り組んだ
	定住促進サポートセンター運営事業	関連事業	移住に関する情報収集や情報発信	定住促進サポートセンターの円滑な運営を行うことにより、移住者の受入体制を強化し、定住促進に寄与できた
住民が取り組む事業	空き家流動化対策事業	関連事業	地域団体の協力を頂き、空き家所有者等へ空き家バンクの登録へ促しや、空き家の掃除などの実施	①空き家掘り出し事業 24件 ②空き家掃除お助け事業9件 ③空き家思い出保存事業1件
成果指標①	成果指標の目標数値	人口（住民基本台帳） H29 34,000		成果指標の実績値（H29年10月1日時点） 32,397人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由） 前年度より1%となり、人口減少が続いており、定住に繋がる事業のさらなる施策が必要	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	人口動態（社会増減） H29 増加		成果指標の実績値（H29年12月31日時点） ▲72人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由） 昨年度は増加に転じたが、H29は減少した。転入者も増加しているが、引き続き、定住に繋がる事業のさらなる施策が必要あり、社会増減の増を目指す。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果指標③	成果指標の目標数値	子どもの数（学齢前） H29 1,750		成果指標の実績値（H30年3月31日時点） 1,522人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由） 子育て施策を充実させH29年度目標値を達成できるように施策を実施する	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果指標④	成果指標の目標数値	市内駅JR駅乗降客数（H29 16,000人）		成果指標の実績値（H29年度末見込み） 15,310人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由） 現時点ではH29年度数値は公表されていないが、見込数ではインバウンドによる観光客数が一定頭打ちになってきており、下回る結果となっているため、H29目標値を上回るよう、引き続き増加できる施策に取り組む	（時期）

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 南丹市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>地域交通計画事業や南丹市の施策の基本となる総合振興計画策定事業などを実施し、定住の重要な要素である「交通」「雇用」「子育て」「福祉」などの環境づくりを進めることができた。しかし、人口減少問題については南丹市の喫緊の課題となっており、定住促進に向けた施策を実施していくなど、市民のニーズに即した総合的な施策を進め、全世代が暮らしやすいと感じられるまちづくりを推進していく必要がある。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>地域おこし協力隊等と連携を行い、都市部への定住促進に向けた情報発信活動と併せ、移住者を受け入れる機運醸成に取り組めた。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>各地域において、空き家所有者等へ空き家バンクの登録への促しや、空き家の掃除の実施、行政区が主体となって行う集会所の新築や改築、公園等の整備や改良等、環境整備に対して補助することにより地元に対する自治意識向上が図れた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>バス運行の計画及び路線・運賃等の検討によりバス交通に係る利便性の向上に向けて計画を策定できた。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。